山手

西荻窪の道路拡張

住民ら「時代遅れ」

杉並区のJR西荻窪駅前を走る道路の拡張計画が進んでいる。防災や駅へのアクセス向上のためだが、高度経済成長期に立てられた半世紀以上前の計画で、地元では「住民の声を聞いていない。のんびりした西荻の良さが壊される」と反発の声も強い。（三輪喜人）

半世紀前の計画

多くの反発の声

対象は、青梅街道と駅を結ぶ道路で、約一・二㍍を幅十一㍍から十六㍍に広げる。この道路は、区道・補助132号線の一部。

災害時に延焼を防ぎ、緊急車両の通行を容易にするのが目的。拡張することで駅前の活性化につなげる狙いもある。電柱も地下化する。

戦後間もない一九四七年に計画が立てられた。六六年に道幅を十六㍍にするなどの見直しがあったものの約半世紀、着手されないままになっていた。

区によると、都などが二〇〇四年に発表した都市計画道路の方針に、優先的に整備する道路の一つに選ばれたことで、動き始めた。東日本大震災の影響などで時間がかかったものの、区は測量などを進めてきた。

一方で、計画に疑問を持った住民たちが、工事の中止を求めてきた。反対グループの中野千枝さんは「高度経済成長期に立てた計画が、令和の時代にゾンビのようによみがえった。道路にお金をかけるのは時代遅れ」と批判する。

計画を知らない住民も多く、中野さんは二〇一八年九月に初めて知った。道が広くなることで七十軒以上の店や住宅が壊されるといい、拙速だという声も強い。

区は「地元へ広く周知し、丁寧に説明してきた」と反論。今年一月、都に約六百㍍の区間を事業申請し、今月七日に認可を受けた。事業費は約八十五億円。今後、用地買収などの手続きを進める。

環境政策などに詳しい明治学院大の熊本一規名誉教授は「適正な手続きがなく、憲法違反だ」と認ず。この計画は、大正時代の旧都市計画法に従って作られた。しかし、現在の法律では、計画を決めるときに住民の意見書などが必要なのに、手続きが行われていないからだ。

現在、区内にはJR高円寺駅と早稲田通りを結び、高円寺純情商店街などを再開発する補助227号線も優先道路に選ばれている。熊本さんは「全国各地に同じような事例があるはずだ」と指摘している。

拡張計画がすすむJR西荻窪駅前の区道＝杉並区で

心のふるさと　祈りのお山

高尾山薬王院

都内の天気

	きょう	あす
都区部		
府中		
八王子		

きょうの予想　（区内）

降水確率
朝10%　昼10%　晩30%
気温
最高20度　最低10度

北日中南の風

社会部東京ニュースデスク
〒100-8505
東京都千代田区内幸町2-1-4
電話　03-6910-2260
FAX　03-3595-6917
mail:shakai@tokyo-np.co.jp
したまち支局
電話　03-3844-2215
FAX　03-5827-7470
立川支局
電話　042-524-0061
FAX　042-524-0063
武蔵野　0422-43-2134
八王子　042-656-2313
町田　042-727-5451